



Women's Health NAO様

(菜桜助産所 & 合同会社asterisk袖)

●事業内容：助産、および女性の健康サポート施設の運営

**メンバーが主体的に会社のことを自分事として捉えてくれる
“仲間と共に夢を叶える”意識と連帯感が芽生えました。**

助産をはじめ、女性が生涯健康で暮らしていけるよう、多角面からサポートしているWomen's Health NAO様。2018年4月から新体制でスタートを切るにあたり、目指すところをみんなで共有をすべく“チームドリームマップ研修”を開催。受講後のご感想などを、代表の堀田久美さんに伺いました。

チームで描くドリームマップとは・・・

チーム（または会社）で一枚のビジョン（目標）を描きます。ビジョンが社員に浸透し、組織の発展に直結します。

◆ チームドリームマップを導入しようと思った背景は？

4月から新しいメンバーを迎え、Team一丸となって活動をしていきたいと思ったからです。

実は、以前にも、Teamで活動していこうとスタートしたことがあります。しかし、その時の入職者は、助産所の運営ノウハウやスキルを習得するだけが目的でビジョンが共有できず、NAO運営の危機にさらされるという経験をしました。苦しい期間を経て、再度前を向いて歩んでいこうと決意した今回は、新旧全てのスタッフが、NAO自体を愛しいと感じ、共に育ててくれるようになって欲しいと思っています。そのためには、この再スタートのタイミングで、個の夢とTeamとしての夢が上手く融合できるようにしたいと考え、研修導入を決めました。

るるキャリアさんをお願いした理由は、単にやりたい夢を描くだけでなく、ビジネス的視点と戦略をもって夢を叶えていくと言うことをスタッフと共有したかったからです。

◆ 参加したことで、何を得られましたか？

参加スタッフは、Teamであると言いながらも、当社の正規職員ではありません。そんな状況でありながら、自分たちは共にNAOで何を成し遂げていこうかということ短い時間の中で一緒に考え、形として表現することができました。NAOが、代表のための会社でそれをただ手伝っていくという意識から、自分の参加する会社であり、そこで仲間と共に夢を叶えていくという意識、そして連帯感が芽生えたと思います。

◆ ドリームマップを創って行動や気持ちにどんな変化がありましたか？

参加メンバーが会社のことを主体的に自分のこととして捉えてくれるようになったと思います。そのことにより、仕事が単なる作業や技術に留まってしまうのではなく、自分の仕事が社会にそして会社に対してどういう影響をもたらすのかを考えて行動できそうです。代表である私は、参加メンバーの想いを聞きながら、これまでの会社の歴史や自分の想いをもっと伝えていかなくてはならないと思いました。

◆ ドリームマップで描いた「ビジョン（目標）」

● 2021年

『20th Anniversary 女性の笑顔の真ん中にNAO』

- ・ ママと家族のための産前産後ケアが当たり前の世の中
- ・ 産前産後ケアのファミリーコテージ
- ・ 親子で来られる美容室
- ・ 年に1回研修講師
- ・ キッズスペース完備



代表
堀田久美さん

■ チームドリームマップ研修概要

日程：1日（5時間）

参加者：5名(代表1名・女性スタッフ4名)

Women's Health NAOと一緒に女性のサポートをしていこうとしている仲間

【プログラム内容】

1. ドリームマップとは？
2. チームの強み分析（様々な視点・視野を持ち寄る）
3. チームのゴールイメージ（ゴールの共有・見える化）
4. ドリームマップ下書き（各自が役割認識を持つ）
5. ドリームマップづくり（ゴールの明確化・共有）
6. 行動計画（実行&改善のサイクル）
7. ドリームマップ発表（当事者意識をもつ）

■ 目標を描く4つの視点

